

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	能越自動車道 一般国道470号 七尾氷見道路 <small>ななおひみどうろ</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局	
起終点	いしかわけんななおしやわた とやまけんひみしおおの 石川県七尾市八幡～富山県氷見市大野				延長	28.1km	
事業概要：「アクセス時間の短縮による物流の活性化・観光圏域の拡大」、「災害に強いネットワークの形成」、「第三次医療施設へのアクセス向上」、「高規格幹線道網の形成」などを目的とした、延長28.1kmの高規格幹線道路の整備を行うものである。							
H8年度事業化		H10年度都市計画決定		H13年度用地着手		H15年度工事着手	
全体事業費	1,472億円		事業進捗率	19%		供用済延長	0km
計画交通量	8,900～16,200台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年	
	(事業全体)	1.6	(残事業)/ (事業全体) 898 / 1361 億円 （事業費：795/1258億円 維持管理費：103/103億円）	(残事業)/ (事業全体) 2155 / 2155 億円 （走行時間短縮便益：2108/2108億円 走行経費減少便益：32/32 億円 交通事故減少便益：16/16 億円）	H19年		
感度分析の結果：残事業B/Cによる感度分析を実施 交通量(±10%)2.2～2.7、事業費(±10%)2.2～2.6、事業期間(±2年)2.2～2.5、割引率(±1%)2.0～3.0							
事業の効果等 ・現道等の渋滞損失時間を削減・新幹線駅へのアクセス向上・当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルート形成・三次医療施設へのアクセス向上・緊急輸送道路の代替路線形成							
関係する地方公共団体等の意見 ・能越自動車道建設促進期成同盟会・能越自動車道商工観光懇談会・能登総合開発促進協議会 ・能越自動車道七尾区間建設促進協議会・能越自動車道能登区間建設促進協議会が早期整備を要望							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・能登空港の開港・能越自動車道のうち、当該路線と連続する氷見ICから小矢部砺波JCT間については既に供用済み(氷見IC～高岡IC間は暫定2車線供用)							
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地買収については約56%完了 ・L=28.1kmの4車線整備(用地買収、工事)							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・平成20年代の全線暫定2車線供用を目的							
施設の構造や工法の変更等 ・新技術、コンクリート構造物の大型化、プレキャスト製品の積極的な活用、建設発生土の有効活用、再生材を利用した舗装・路盤工の活用等により、コスト削減を考慮している。							
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	・高規格道路網の形成、渋滞損失の削減、災害時の迂回路確保、三次医療施設へのアクセス向上等期待される効果は大きく、投資効率性も確保されている。						
事業概要図	 <p style="text-align: center;">七尾氷見道路 L=28.1km 事業評価対象区間</p>						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。